

目的

県内の意欲ある農業者の方等を対象に、第一線で活躍する実務家、学識経験者を講師に招き、経営者精神、リーダーシップ、マーケティング、マネジメントに関する能力を磨き、将来、県の農業を担うトップリーダーとなっただけのため、「くまもと農業経営塾」を開講します。

内容・構成

知事が塾長を務め、10回のゼミ講座、2回の公開講座を実施します。

- ①ゼミ講座
戦略的な農業経営をめざす若手農業者20名程度を対象（年間10回）
- ②公開講座
県内の農業者、農業に関わる自治体職員、農業団体職員等300名を対象（年間2回）
- ③塾生フォローアップ事業
第1期生（H22年度修了生25名）、第2期生（H23年度修了生26名）を対象

ゼミ講座

① 応募資格

ゼミ受講生は、以下の要件を全て満たす方とします。

- (1) 県内在住で、概ね5年以上の農業経験年数を有すること
- (2) 既に農業技術を習得し、経営権の委譲を受けている者又は近年中に委譲を受ける予定の者であって、農業経営を改革したいという意欲のある若手農業者であること
- (3) 全てのゼミ講座に出席できる者であること
- (4) Eメールによる受講申込及びゼミ講座でのレポート提出ができる者であること

② 募集人数 20人程度

③ 募集期間及び応募方法

(1) 募集期間 平成24年7月4日（水）～平成24年7月20日（金）

(2) 応募方法

県庁ホームページに掲載する「平成24年度くまもと農業経営塾ゼミ講座受講申込書」に必要事項を記入の上、写真データ（6ヶ月以内に撮影したもので、顔がはっきり写っているもの）を添付し、電子申請で提出してください。

④ 選考方法及び受講生の決定

提出された受講申込書及び以下に予定する面接審査の結果について、審査委員会で審査したうえで合否を決定し、平成24年8月10日までに通知します。

なお、面接審査については、対象者に直接連絡します。




※面接審査 平成24年8月1日（水）

⑤ 講座スケジュール

別添「ゼミ講座スケジュール」のとおり

塾生フォローアップ事業

第1期生、第2期生各自が昨年の経営塾で作成した事業計画の実現に向けた支援等を実施します。

- フォローアップ講座の開催
- 個別経営相談会の実施 
- 塾生企画型講義の実施 
- 販売体験会、商談会の実施 

公開講座

① 応募資格

県内の農業者、農業に関わる自治体職員・農業団体職員等

② 募集人数及び応募方法

(1) 募集人数 約300名／1回

(2) 応募方法

県庁Webページ等に掲載する「平成24年度くまもと農業経営塾公開講座申込書」に必要事項を記入の上、熊本県農林水産部経営局担い手・企業参入支援課宛てFAX又は電子メールで提出してください。

※公開講座開催の約1ヶ月前に募集を開始します。

③ 講座スケジュール

第1回を平成24年10月下旬開催予定。（詳細な内容は後日お知らせします）

開講式

- ① 日時：平成24年8月22日（水） 午前10時30分～
- ② 場所：熊本テルサ
- ③ 出席者：ゼミ講座受講生 20名<予定>

（注）開講式に引き続き、塾長講義、第1回ゼミ講座を開催します。

お問い合わせ先

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号
熊本県農林水産部経営局担い手・企業参入支援課
就農支援班（藤木、和田） 内線5445
TEL：096-333-2432（直通） FAX：096-382-6934
E-mail：ninaikigyou@pref.kumamoto.lg.jp

別添<ゼミ講座 スケジュール>

形式	回	テーマ	内容	講師	日程等
ゼミ	I	(1)開校式 (2)経営実学 学習の準備・導入	(1)塾長蒲島知事講話 (2)県農業の未来を拓く農業経営者の目標設定 ・くまもと農業経営塾で何を学び、何を不得、何を実践するか ・グループディスカッションの進め方、方法 ・ロジカルシンキングとフレームワーク ・目標設定とプレゼンテーション準備	(1)蒲島知事 (2)坂上隆 (株)さかうえ 熊本伊織 (MIコンサルティンググループ(株)アグリ事業部統括ディレクター)	8月22日(水) (1)10:30～12:00 (2)13:00～17:00 熊本テルサ
	II	基礎科目	経営戦略実論 ・経営とは何か、経営者の役割とは何か ・農業におけるリーダーシップ ・家業→起業→企業という成長過程に欠かせないもの	上原征彦 (明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授)	9月6日(木) 10:30～17:30 農業大学校
	III		マーケティング戦略実論 ・マーケティング戦略、成長戦略の描き方 ・市場、顧客のセグメンテーションとターゲティング ・自社の強みを活かすブランドの構築	上原征彦 (明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授)	9月下旬 10:30～17:30 県立あしきた青少年の家 新規 宿泊研修
	IV		農業経営における経営戦略・マーケティング戦略の実践 ・「経営戦略」「マーケティング戦略」の理論を農業において実践的に理解することを目的とし、農業経営者としての実践事例を学ぶ。 ・農業経営において経営戦略づくりに取り組むことになった背景や経緯について、家族的農家から企業の農業経営に至る考え方ややり方のプロセスを学ぶ。	澤浦彰治 (株式会社野菜くらぶ代表取締役)	
	V		農業経営者のリーダーシップ ・自らの農業経営を取り巻く人々や地域からの信頼、尊敬、協力を得られるような経営者としてのリーダーシップを養う。 ・多くの各界リーダーを輩出している教育機関のトップ(教育者)から、リーダーに求められるものや考え方を学ぶ。	新規 古山和宏 (財団法人松下政経塾塾頭)	
	VI		人材育成と組織づくり ・農業人材育成と組織マネジメント ・人材育成によって農業法人が収益を上げ続ける戦略 ・農業人材を育てて輩出する、攻めのマネジメントとは	嶋崎秀樹 (有)トップリバー代表取締役)	11月中旬 10:30～17:30 農業大学校
	VII	応用科目	高品質野菜づくりの実践とブランド化 ・高品質野菜生産の実践と、地域内外へのブランディング戦略 ・生産者連携による直売所運営と地域活性化 ・経営モデル分析と自社展開	長谷川久夫 (株式会社農業法人みずほ代表取締役社長)	12月中旬 10:30～17:30 農業大学校
	VIII		農商工連携と地域活性化 ・自社ブランドと地域ブランドの展開 ・農商工連携によるブランディングの事例研究 ・地域活性化による成長戦略	大塚明 (日本スーパーマーケット協会専務理事)	12月中旬 10:30～17:30 農業大学校
	IX		農業企業経営による成長戦略の実践 ・国内トップの農業企業経営者の理念、志と軌跡 ・県内農業を担う農業者に必要なこと ・経営モデル分析と自社展開	木内博一 (農事組合法人 和郷園代表理事)	1月中旬 10:30～17:30 農業大学校
		実践科目	農業経営者としての経営理念と事業計画 ・事業計画を考える上での準備 ・「外部分析」「内部分析」「戦略の認識と選択」	熊本伊織 (MIコンサルティンググループ(株))	
X			(1)事業計画発表会 ・事業計画の発表と評価 (2)修了式 ・塾長蒲島知事講話	(1)上原征彦 (明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授) (2)蒲島知事	3月中旬 (1)10:30～16:30 (2)16:30～17:30 農業大学校

講師プロフィール<ゼミ講座>

氏名	所属・役職	プロフィール
上原 征彦	明治大学大学院 グローバルビジネス研究科教授	東京大学経済学部卒業。日本勧業銀行、(財)流通経済研究所を経て、1986年明治大学教授。ペンシルバニア大学客員教授を経て、2004年より現職。専攻はマーケティング戦略論、流通論。政府の産業構造審議委員として流通部会長、サービス部会長を務める。著書に『経営戦略とマーケティングの新展開』『マーケティング戦略論』『創発するマーケティング』など多数。
澤浦 彰治	株式会社野菜くらぶ 代表取締役	1964年群馬県生まれ。農業高校卒業後、家業の農業に従事。95年有機野菜生産グループの(有)野菜くらぶを設立、2004年にぐりんりーふ(有)を設立。2008年、第47回農林水産祭の畜産・地域特産部門で天皇杯受賞。著書に『農業で利益を出し続ける7つのルール』がある。
古山 和弘	財団法人松下政経塾 塾頭	1959年板橋区生まれ。都立小石川高校を経て、1982年慶応義塾大学法学部(国際政治専攻)卒業。オーストラリア国立タスマニア大学にて講師。現在、松下政経塾常務理事、研修塾塾頭。松下政経塾3期生。
嶋崎 秀樹	有限会社トッピーバー 代表取締役	1982年現ブルボン入社。2000年に農業生産法人トッピーバーを設立、9年で年商10億円の企業に育て上げる。「農業をマネジメントする」発想で、儲からないといわれた農業を「儲かるビジネス」として実証し、次世代の農業リーダーを育成・輩出しながら、日本の新しい農業のあり方を提言し続けている。著書に『儲かる農業～ど素人集団の農業革命』。
長谷川 久夫	株式会社農業法人みずほ 代表取締役社長	1948年茨城県生まれ。67年高校卒業後、実家の農業に従事。87年つくば市議会議員。90年に(株)農業法人みずほ設立し、農家が自分で価格決定を行う直売所を経営する。2003年～2009年、日本農業法人協会会長を務める。
大塚 明	日本スーパーマーケット協会 専務理事	1948年埼玉県生まれ。日本大学文理学部社会学科卒業後、(株)イトーヨーカ堂入社。昭和56年(株)ヤオコーに入社され、平成9年常務取締役、平成16年情報化推進担当兼IR広報室長兼コンプライアンス室長。(株)ヤオコー顧問現任。経済産業省ビジネス性実証支援審査委員会委員、農林水産省卸売市場研究会委員を歴任。平成15年6月2003Executive Of the Yearを受賞。著書 共著(社)公開経営指導協会 通信教育テキスト「売場チーフ講座」等
木内 博一	農事組合法人和郷園 代表理事	1967年千葉県生まれ。農業者大学校を卒業後、90年に就農。1996年事業会社(有)和郷を1998年(農)和郷園を設立。(有)和郷は2005年に(株)和郷に組織変更。生産・流通事業のほか、リサイクル事業や冷凍工場、カット・パッキングセンター、直営店舗の展開をすすめる。2005年海外事業部を立ち上げ、タイでマンゴー、バナナの生産を開始。2007年日本から香港への輸出事業をスタートし現在ターゲット国を拡大準備中。
坂上 隆	有限会社さかうえ 代表取締役社長	1968年鹿児島県生まれ。24歳で就農。コンビニおでん用ダイコンの契約栽培拡大を通じ1998年から生産工程・投資・予算管理の見える化に着手。数量・品質・納期100%順守の仕組みを構築、「A-1グランプリ」(農業技術通信社)大賞受賞。農業法人コンサルティングも手掛ける。
熊本 伊織	エムアイコンサルティンググループ株式会社 アグリ事業部統括ディレクター	大阪府立大学経済学部卒業後、松下電工(株)(現パナソニック電工(株))入社。06年に(株)船井総合研究所に入社し、農業・食品リサイクルビジネス支援チームで農業コンサルサービスを確立。2009年より現職。企業の農業参入拡大・事業再生コンサルティングや、各地で開校されている農業経営講座・塾・訓練学校等の総合企画・講師などを務める。日本農業経営大学校業務部兼教務部マネージャー。